

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	「いこいの里」花いちもんめ
(ユニット名)	1ユニット
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県始良郡加治木町4888-4
記入者名 (管理者)	本村 ヨシ子
記入日	平成 20 年 6 月 30 日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の自然と環境を大切に地域の民生委員、公民館長、行政の協力をもらいながら、地域の為のホーム作りを目標としている。	○	地域の保育園、小学校などと交流をもち多くの地域の行事に参加して高齢者と子供たちの心のふれあいを大切に生活の生きがいを持てるホーム作りをしている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所本部の理念基本となることを基に苑独自の理念を作っている。事業所全体の合同スタッフ会議などで実践に取り組んでいる。	○	理念は二つあり、どなたでも理解して頂けるようにしてありスタッフは毎日のミーティング時に口に出して実践している。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族様、民生委員の方へは届けてご理解して頂いている。研修会等へ持って行ってどなたでも自由に見て頂いている。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域に高齢者福祉施設があり朝夕に散歩時声かけえをして全スタッフ又利用者様と立ち話し等をして認知症の進行防止につとめている。		地域の高齢者が作られた新鮮な野菜など手伝いながら食材などに出させて頂いている。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入して、老人会、クラブなど積極的に参加している。敬老の日又行事などに参加して交流をしている。		地域の高齢者の方々を苑に招いて食事会などを行なっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	民生委員の方々、公民館長の方々と日々話をして独居の高齢者の方、対応に困っておられるご家族様には、いつでも電話して頂いて行政などと連携を取っている。	○ 認知症グループ通所施設などの実習現場として研修指導にあたっている。地域で暮らしておられる方々のことなどを民生委員の方々より情報を頂いている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎日の申し送りのミーティング、スタッフ会議等で評価の理解に取り組んで話し合っている。外部評価改善シートを作成して全員で行なっている。	○ 職員の毎日評価についての勉強で要点を指導して、スタッフの対応で違いが出ない方法を全員で行なっている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族、地域（民生委員）行政（消防）の積極的な参加が多く取り組みについてはしっかり前向きに全職員で行っている。	○ 民生委員の方から地震時は昔の（防空頭巾）などを準備してもと言うことなどが出ている。外部評価で第三者の目線で指示して頂いたことで改善が多く出ている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者が日々行政へ出向いて情報を頂き又苑での報告などをして行政上の話など参考にして頂いている。自分で行くことで地域高齢者のことが理解できると考えている。	○ 運営推進会議の中でご家族様が介護保険その他のことなどを行政に話をしやすい環境を作り多くの話が出ている。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	すでにご家族の中で何人かの方が相談されて活用中である。当苑で相談された時はいろいろな情報を基に手伝いを行っている。	○ 管理者は、管理者研修などで勉強研修したことをスタッフへ情報提供しているが難しい問題であり今後全員で勉強して行きたいと考えている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員に対しては（マニュアル）・（本）等を準備して日々うながしている。外泊・外出時は全身観察をしっかりとっている。又日常生活の中で言葉の虐待があることも指示して言葉には十分気をつけて77に努めている。	○ 虐待又は介護の悩みなどについて、いつでも話を頂くように日々努めている。介護（認知）について自宅で介護されている方々は民生委員を通じてホームへ介護する方に来て頂いている。知っている情報を流すよう努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所手続時、入所時に両者がホームを見てご理解頂き契約に対しては両者で読み合わせを行い理解した上で行っている。不安や疑問点などはしっかり聞いて説明をする。	○ 解約はほとんど退所（入院）時だけだがその後もご家族様とは交流を深めている。相談にも出来る限り応じている。双方で一部ずつを保管するようにしている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中で何かしたいこと、行きたいところ、誰に合いたい、等は話を聞いてお友達を呼んだり出かけたりしている。	○ 出来れば全員を考えているが体調不良等の事を考えると無理もあるが今後はなるべく外へと考えている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	健康面は定期的な健康管理を行ないインフルエンザ、流行性感染症については関連病院と連携を取って対応している。苑よりの報告は全部苑だより等で報告している。	○ ○感染症については、日々の消毒方法 ○感染マニュアル作成 ○職員移動については運営会議 家族会での報告している。 ○金銭管理は台帳作成している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様へは、苦情は私達の成長ともなります。小さなことでも出して頂くようにと お願いしている。苦情委員会も設置している。運営会議などで外部へも反映している。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り ミーティングをして意見やスタッフの提案を利用して運営に取り入れている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間に人数をしっかり調整している。行事などの時は全職員が協力している。遅出・早出と対応して時間単位を確保している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職を最小限にする努力をして、働きやすい環境作りに日々努力している。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県・地域・関連病院・法人の研修会、勉強会に参加している。レポートを提出して、参加した本人が発表して情報を共有している。	○	苑独自のマニュアルがあり、スタッフがいつでも見ることが出来る。看護師の指導で実技も全体的に行っている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム・居宅・法人・行政などのネットワークを広げている。町内4つのグループホーム交流会・食事を交えて大切にしている。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	介護現場の中で一人で悩まないことを目標にしています。いつでも話が出来る環境作りに努めている。	○	職員間のストレス改善をして食事会などを行っている。組織全体で対応している。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年2回定期的にスタッフ健康診断を施行して健康管理に努めている。労働基準法に基づいてスタッフへ説明している。休憩は各自交代で取るようになっている。	○	勤務中の休憩については食事時間を含めて約12:00～14:00頃までスタッフの時間としているが徘徊などが多い場合は出来ない場合があるが(私用の外出も認めている)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	スタッフ全員で日々意識的に取り組んでいる。本人像がいちばん見えてくるので大切に努めている。	○	まず何をしたいのか？何を思っているか？話の出来る人は全体的に聞くことを目標にしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	来苑時又はどの時間でも話の出来る状況を考えて対応している。	○	人前で話が出来ないことを考えて別室で対応していることもある。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様、それぞれに合った対応をしている。必要であれば各行政やサービス機関など紹介して安心へつなげている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	全員で日常生活の中で見きわめて大切に1人1人を考えていくように意識して取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活場面で意識して対応している。	○	人生の先輩方として学ぶ事は多くあり生活の中で人として喜怒哀楽は必要と考えて生活している。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族に対して個別に対応している。	○	スタッフが困った時はご家族の力が第一と考えているので情報を大切にして本人らしきを出せる方法を目標としている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	中には大変難しい問題もあるが出来る限り個別で対応している。	○	週に一度の家族との外食や寺巡りなど家族との交流をして頂いている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の協力を大切にしてお対応している。	○	面会時に職員と会話をして頂いて思い出の人・場所などを聞くことに努めている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日頃の生活の流れで利用者同士の関わり大切さをスタッフへ日々情報を渡して関わり大切さを基本にして対応している。	○	仲良しグループの環境作り、ティタイム時間などスタッフが気配り気づきを大切にして生活して頂いている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	管理者、職員全員で対応している。最大限に対応を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族とのズレもあることがあるが管理者が話しをして本人様の意見を取り上げて面会・外出・墓参りなどして頂いている。	○	出来ない場合は、スタッフが(思い出の)場所をドライブしたり不要除去に努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	高齢の進む中、自立が目標なので地域の環境にふれることが出来るように地域へひきだすよう心掛けている。	○	桜・花見 龍門滝のところで全員で食事会！
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	看護師のもとで、体調など季節時にも、こまやかな見極めを行って対応している。	○	季節によっては(花)の植木、庭なども気配りをしている。体質的にはアレルギー体質の方にも気配りをしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は日々の生活の表情・行動など全体を全スタッフで取り上げその方に合った計画を作成するよう対応している。スタッフ全員各自ファイル・ノートに記入して計画している。	○	理解出来るご本人様からは話も聞いている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	全スタッフから多くの気づきケアの仕方安全へ向けての情報がでてそのつどケアと情報を共有して作成を出している。特にご家族様の意見をしっかり聞くことにしている。		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護の実践で気づきが多くケアにその時の表情・言葉に出されたこと、スタッフが対応してどんな交流・結果はどうであったか？毎日ミーティングして評価につなげている。	○	ケアの実践～対応～結果～評価の記入部門をもうけてその中で何が大切かを気づくようにしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症対応型通所介護の許可は取れていないが行政へのアプローチはしており申請書の受入れ待ちである。今後は在宅の方を受け入れることを考えており地域の活性化につなげて行きたいと考えている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の子供会・クラブの子供たちに声掛けを行っている。在宅・ボランティア・消防・社協などは協力を頂いているところです。	○	地域の保育園・小学校・中学校等は夏祭りなどで多く交流している。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	定期的に交流会があり話の出来る連携を取っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営会議等には地域包括支援センターより参加を求めている。地域で支援する勉強会関連施設会議等に参加している。	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要な対応をしている。主治医の説明時管理者とご家族様立会いで聞きご家族様の不安除去にも努めている。	
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	対応出来ている。関連医療機関に精神科医を確保して医療面・精神面共に助言を頂いている。必要時ご家族様同伴もしている。	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	協力医療機関に情報交換を行い感染症対策・健康保持に努めている。日頃は苑の看護師が管理している。	
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医療機関(関連病院)他医療機関の協力ももらって対応出来ている。入院の場合はご家族様と立会いのもと管理者が主治医の話聞いて早期回復へ努めている。	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期々についてはご家族様とご本人の意志を大切に協力病院の主治医と情報交換を行いながら対応を考えている。	○ 協力病院で訪問看護等もありますが、あくまでもご家族様の意思が大切と考えています。今後は大きな目標と看取りも検討して行きたい！
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	苑の大きな目標としています。協力病院の主治医といつでもご家族様が話が出来るよう管理者は医療機関と日々連携を行っている。急変時の24時間対応可。	○ 関連病院の外来看護師へは日々報告をしている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ 移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者 間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替 えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>個人情報をお大切に家族様・地域支援の関係を大 切にしている。今でも交流を行っているところ です。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるよ うな言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り 扱いをしていない</p> <p>誘導の声かけについては、日々全職員に意識付 けを行ない個人の人間性を大切に努めている。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけ たり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決 めたり納得しながら暮らせるように支援をして いる</p> <p>できる限り短い言葉の声かけでわかりやすい言 葉で伝えるよう意識付けを指示している。でき るだけ意思を大事に出来ることはして頂く、無 理にしない！職員が決めない・時間が、かかっ ても急がせない、をお大切にしている。</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではな く、一人ひとりのペースをお大切に、その日 をどのように過ごしたいか、希望にそって支 援している</p> <p>その方の体調や気分をしっかりと理解して対 応している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれが できるように支援し、理容・美容は本人の望 む店に行けるように努めている</p> <p>その方に合ったケア いつも 美しくをモットーに職 員全員が日々取り組んでいる。顔の手入れ・爪 の手入れ・化粧なども行なっている。美容院へ は同行で外出している。又、体調の良い時は 外出で買い物に同行する。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる</p> <p>苑の献立表はあるが、利用者様へどんな物 を食べたいか聞く時間を大切に・声を大切 にして材料切り・洗い物・盛り付け・味付 けなどして頂いて食卓へ並べてもらおうと 同時に作ることで職員はどんな物を好ま れるか(味) どうかなど理解する時間を 考えています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご家族様の情報を頂いて好まれる物を取り入れてヤツなどは全員でお好み焼きやポタ研作りなどしている。また、手作り漬物など全員で行なっている。高齢者の昔培った力もかりて日々行なっている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人の排泄パターンを理解して基本体位を察してトイレ誘導を行ない腹圧をかけ易い体位の工夫と食材の工夫に日々取り組んでいる。	○	日中は歩行運動を行ない腸蠕動へつなげている。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を嫌がらない環境を大切にお一人お一人を理解して入浴の楽しみとなるよう工夫している。	○	時々外部の温泉へも行く時がある。希望者があればその都度考えて行きたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人の生活リズムに合わせて日常生活の中でも昼寝をしたい方はその様にして頂くように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご家族様より情報を得て好きな事など理解して感情障害等があっても手助けして行く工夫をしている。手作り作品・習字・踊りなど日々行なっている。	○	手作り作品展などにも出品している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の了解のもとでスタッフと買い物に出かけている環境など整えている。くつした・下着など同伴で出かけている。	○	可能な限りご本人様の力を出すことを目標としています。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	地域でのイベント老人クラブへの参加。近くのお地藏様参り売店への買い物・見学など車椅子利用者も行ける支援をしている。	○	天気の良い時は何回かに分けて車でドライブ支援、なじみの場所などへ！
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者同士仲良しグループでの外出・体調が悪くない限り支援している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の方が手の届くところに電話があり自分で自由にして頂いている。また、ご家族の了解も頂いている。	○	年賀状・暑中見舞い等各自で書いて頂いて郵送している。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族・知人地域の方々がいつも自由に出入り出来るよう日々取り組んでいる。	○	訪問は毎日あります。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホームでの拘束は行っていない。全職員へ介護保険法の拘束禁止など日々指導を行なっている。認知症より徘徊・事故防止など全員で細かに支持している。	○	全体的に事故につながらないことへ努力をしている。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実践に向けてやって見た時に苑脱出(家出)がありとっても危険を感じて居ります。両出口とも車道に近く車も多いので認めております。	○	ご家族へは運営会議等鍵の了解は頂いております。センサーの取り付けも今検討中です。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	管理者・全スタッフは700㎡内で利用者と共に過ごすことを目標として支援している。日々スタッフ4人～5人いるようにしている。	○	一人は必ず視野に入るところで生活をすることにしている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険性の高い物はご家族様の了解を頂いて管理している。消毒剤・薬剤・洗剤等は鍵をかけて管理に努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	全スタッフがいつでも見れる全マニュアル、分かりやすい独自の物を作成している。対応は必要な時に看護師が実技指導している。	○	火災等については管理者が防火管理者であり関連病院の防火管理者と連絡をとっている。火災通報装置がリビング内にあり直接消防署へ通報できるようになっていて全職員が作動出来るようになっている。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	関連病院が同敷地内なので急変時対応(マニュアル)を出して初期対応は看護師が行なっている。必要時はいつでもミーティングをして指導しています。	○	人口呼吸は(ポケットマスク)パルスオキシメーター等準備している。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の対応はまず、関連福祉施設・病院・地域の方々と運営会議等でミーティングを行なっている。居室より外部へ遮へい物がなく、すぐ出られる状態である。リビングには車椅子用スロープもある。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	年齢的にリスク高となっていますが、個別的な面も考えてご家族様は昼夜を問わず報告をして対応しています。安心と安全へつなげています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々のケアの中で早くの気づきを目標に報告の大切さを職員に指導して情報の共有で対応しその方に合った対応に努めている。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各自の薬剤マニュアル副作用まで薬の管理は主に看護師が行なっている。服用については3人がそれぞれ3回確認をするよう指導している。	○ 確認用のマニュアルを貼り出している。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	なるべく薬剤を利用しない方向性で食材の検討・水分・腹圧・腹部マッサージ体操など組み合わせて自然排便へつなげている。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	理念が美しくその人らしさをモットーにしています。毎日食後は口腔ケアの指導が必要であれば関連病院の口腔歯科で指導もして頂いている。	○ 歯間ブラシ・舌ブラシ等使用中。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録にそって摂取量・水分時間ごと記録・排出尿量・排便まで目で分かる記録作成をして食事の摂取やカロリーについて年2回位栄養指導して頂いている。	○ 看護師が定期的に採血データをチェック(食事管理台帳)を作成してチェックしている。1日のカロリー1400カロリー-1500カロリーを目標にしている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	全マニュアル作成 ノロウイルスに対して関連病院と同時にがウンテックまで指導。全員施行しています。両出口には手指消毒・外出時手洗いマスク使用。リビング内空気清浄機及び加湿器使用中。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の確認は日々行なっています(日付け) 食器・茶碗・全部洗浄後ハイター洗浄し天日干し、ふきんリビング台所、床などハイターで掃除している。	○	食事を作る人はトイレ介助をしないように指導している。日々利用者様と食事作りなどを行なっている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物は古いですが環境的には龍門滝と桜島が見え室内は和風作りで雰囲氣的な落ち着きがあり地域の方々ご家族様にも溶け込めるようなところで。案内板ですぐ分かるよう工夫しています。苑の周囲は畑・田んぼなど苑玄関は手作り作品などご家族様の声を頂いております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	和風作りを生かして居心地よく過ごせる工夫をしている。浴室にも車椅子で出入出来るよう改善をしてリビングは広く庭では食事会など出来るよう広く季節の草花など取れるように考えている。	○	南側の居室は廊下を工夫して仲良しグループの会話の場所作り太陽の日差しが良く北側は夕日が入り環境を整えている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	カフェは自由に利用出来る気配りと雰囲気作りに努めている。いこいの場は思い思いに過ごして頂けますよう職員が全員で取り組んでいる。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は自宅で使用していたクズその他の物を置いて迷いのない心配りをしている。ご家族様、友人など来苑時ゆっくり会話が出来よう支援している。手作り小間物など居室に整理している。	○	仏壇・神棚はご本人様に合ったようにして頂いている。ご本人様の写真やご家族様全員の写真！
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビング内に空気清浄機・加湿器また居室は空調が整って冷暖房調節はスタッフが日々チェックを行なっている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	居室・入浴・リビング他原則的にバリアフリー自立機能 に向けた改善。老人車でも自立可、手すり使用で 歩行訓練、また歩行器使用看護師指導のもと訓練 を行なっている。	○	行き先が分からない方の為に表示等して 対応している。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	季節の様子を習字に好きな言葉等自分が伝えたい 言葉など折り紙・紙細工等。食事作りの好きな方 は食事作り。洗濯物の片付けまでして頂いて一日 一日が楽しく過ごせるよう工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	庭を散策したり庭でお茶を飲んだり庭で食材作り をしたりする。	○	庭での体操・ボール遊びなどして過ごすこ とが多い。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	② ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	② ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

項 目		回答
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	② ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	① ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・その人らしさを大切に！！を管理者はスタッフに日常的に伝えている。身なり（整容）言葉かけ こまやかな対応、わずかな心の変化を見過ごすことなく、お互いを大切に思い一緒に時を共有していることを尊いと思ひ接しています。 ・当苑では食事（食材）にもスタッフ各自、心をこめて、身体にやさしいもの 便通に良いもの 等々考えて提供しています。 ・ご家族様と情報交換することで今は苑のスタッフ全員が良いケアにつなげていることです。 また、花いちもんめに入所して良かったの言葉を多く頂いてスタッフの自信にもつながっているところです。 ・今後は私達なりのグループホームより認知の方々の指導等に出で行けるよう管理者をはじめ全スタッフで勉強に専念しているところです。多くのご指導等を頂きたいと考えて居ります。